

ほうれんそうセンターの作業効率向上について（園芸振興チーム）

今月は、若手ほうれんそう生産者等の規模拡大に向けた省力化支援として実施した、JA新しいわて八幡平ほうれんそうセンター（調製センター）でのカイゼン活動による、作業効率向上の取組みについてご紹介します。

1 主な取組み内容

◆ 各作業におけるカイゼン活動

- (1) 生産工程を淀みない流れにする「整流化」の視点により、カイゼンコーディネーターとともに検討しました。その結果、ターンテーブルを撤去し、T字型のレイアウトに変更して運用されました(図1、2)。

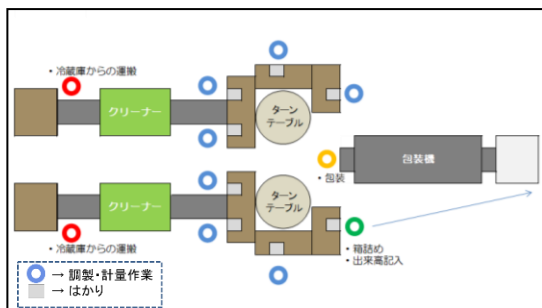


図1. カイゼン前の配置

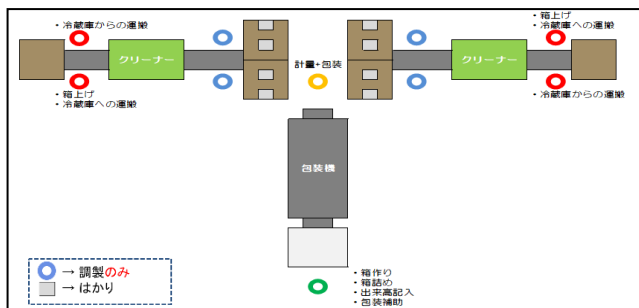


図2. カイゼン後の配置

- (2) 作業員毎の習熟度や得意・不得意を把握し、作業分担の偏りや作業員毎の仕事量のアンバランスを解消するため、星取表(作業習熟評価表)を作成しました。
- (3) 電卓計算や手書きの伝票記入により計算ミスが発生していたため、PCによる事務処理に変更しました。また、簡易に伝票入力できるファイルの作成やPCへの誤入力を防止する工夫をしました。

2 取組みの成果

◆ 各カイゼン活動による作業の効率化

上記の取組みにより、H30年度における総作業時間はH28年度の86%に短縮し、かつ調製センターの取扱量がカイゼン前のH28年度の112%に増加し、作業の効率化が認められました(表1)。

表1. ほうれんそうセンターの受託実績

年度	取扱量 (t)	センター利用割合 (%)	総作業時間※ (時間)	作業時間 (分/箱)
H28(カイゼン前)	34.7	5.1	9,580	69.0
H29	33.7	5.7	8,874	67.7
H30	39.0	7.5	8,230	54.0
H30/H28比	112%	—	86%	78%(22%減)

※全作業員の雇用時間より算出

3 今後の取組み

普及センターでは、調製センターの更なる作業効率化・利用促進のための支援を行うとともに、農福連携等の労力支援活用促進のための労力需給実態の把握を行うなど、若手ほうれんそう生産者等の規模拡大や省力化の取組みを支援していきます。

定期人事異動 転出者の紹介～お世話になりました～

今年度は、八幡平農業改良普及センターから職員7名が転出します。



職 名：所長
氏 名：渡辺 芳幸
在籍年数：1年
転 出 先：盛岡農業改良
普及センター



職 名：普及課長
氏 名：桑原 政之
在籍年数：2年
転 出 先：農業普及技術課
(軽米町駐在)



職 名：普及課長
氏 名：岩淵 道洋
在籍年数：2年
転 出 先：二戸農林振興
センター



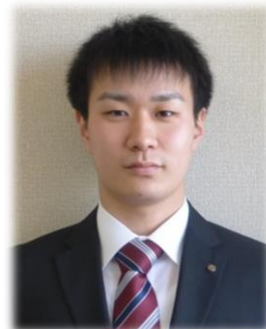
職 名：上席農業普及員
氏 名：長崎 優子
在籍年数：2年
転 出 先：農業普及技術課



職 名：上席農業普及員
氏 名：小原 善一
在籍年数：4年
転 出 先：農業普及技術課
(中部農業改良
普及センター
駐在)



職 名：農業普及員
氏 名：塚澤 龍太郎
在籍年数：3年
転 出 先：中部農業改良
普及センター



職 名：農業普及員
氏 名：菊地 雄大
在籍年数：3年
転 出 先：久慈農業改良
普及センター

ありがとうございました!